

2026年度

神谷川歩道橋

福山市新市町地内

橋梁修繕工事実施設計書

工
事
概
要

工事延長	L= 61.2m
橋長	L= 61.2m
有効幅員	W= 2.2m
塗替塗装工	A= 620m ²
仮設工	一式

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（神谷川歩道橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

- ・本工事は河川管理者との協議により、2026年（令和8年）6月16日から2026年（令和8年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	: 含有量
鉛	: 300000mg/kg
六価クロム	: 1200mg/kg
P C B	: 9.6mg/kg

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：塗替塗装工に係る足場工

第6節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあつては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第7節 特別管理産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）PCB含有量基準値超え

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料にはPCBが含有しているため、塗替塗装の剥離やかき落とし作業で発生する既設塗料の廃棄物（以下、塗料廃棄物）は特別管理産業廃棄物となる。
- ・特別管理産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。さらに、PCBを含有する廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（以下、PCB特措法）を厳守し、適正に処理しなければならない。
- ・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
- ・なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
- ・上記のほか、塗料廃棄物の保管・収集・運搬については、「低濃度PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン（令和25年6月）」に基づいて行うものとする。
- ・塗料廃棄物の処理に要する費用（運搬費を含む処理費）は、廃棄物処理法に基づき環境大臣が認可、または都道府県知事等が許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と処理費の合計が最も経済的になる下記住所の施設を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、塗料廃棄物の処理に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・受入施設住所：岡山県久米郡美咲町吉ヶ原字火の谷1125
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 76 福山市(新市) 00-08.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 08 鋼橋架設工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
素地調整 【素地調整種類】	1	式			Y1G03250101 レベル4
		m2			
循環式ブラスト工法 1種ケレン・低濃度PCB・鉛対応 施工規模500m2以上1000m2未満、車載式	1	式			V000002600 00 単第0 -0001 表
パール缶 天蓋取り外し式バンドタイプ フタ・バンド付、20L	174	個			F0000000067 00
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】					Y1G03250102 レベル4
		m2			
塗替塗装 下塗り塗装	620	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	620	m2			SDT00029 00 単第0 -0005 表
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	620	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	620	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1G032801 レベル3
塗装足場 【橋梁の種類】		m2			Y1E04120103レベル4
補修用足場工	1	式			V0001 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護施設工					Y1G032816 レベル3
	1	式			
仮囲い 【作業区分,基礎形式,高さ】					Y1G03281602レベル4
		m			
仮設工(鉛対応環境対策資材) ばく露防止対策 プラスト2ノズル対応					V000003001 00
	1	式			単第0 -0015 表
仮設費(鉛対応安全衛生保護具) ばく露防止対策					V000003100 00
	1	式			単第0 -0016 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	100	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
安全費					Z0009

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002 レベル4
		式			
安全費（鉛対応安全衛生保護具） 呼吸用保護具 プラスト2ノズル対応					V000003000 00
	1	式			単第0 -0017 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					

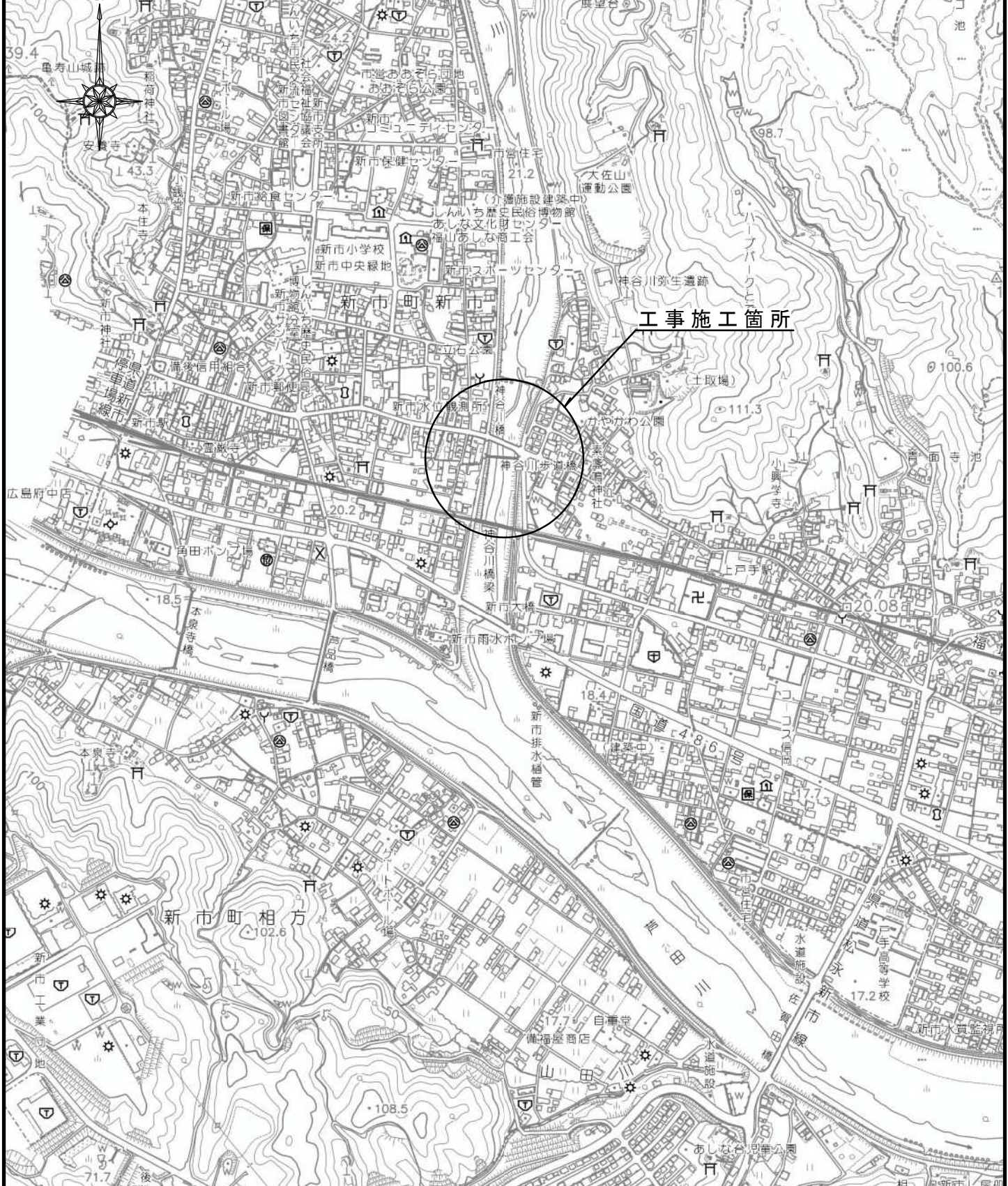
本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/6	縮尺	1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図	番号	1/1
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		

福 山 市

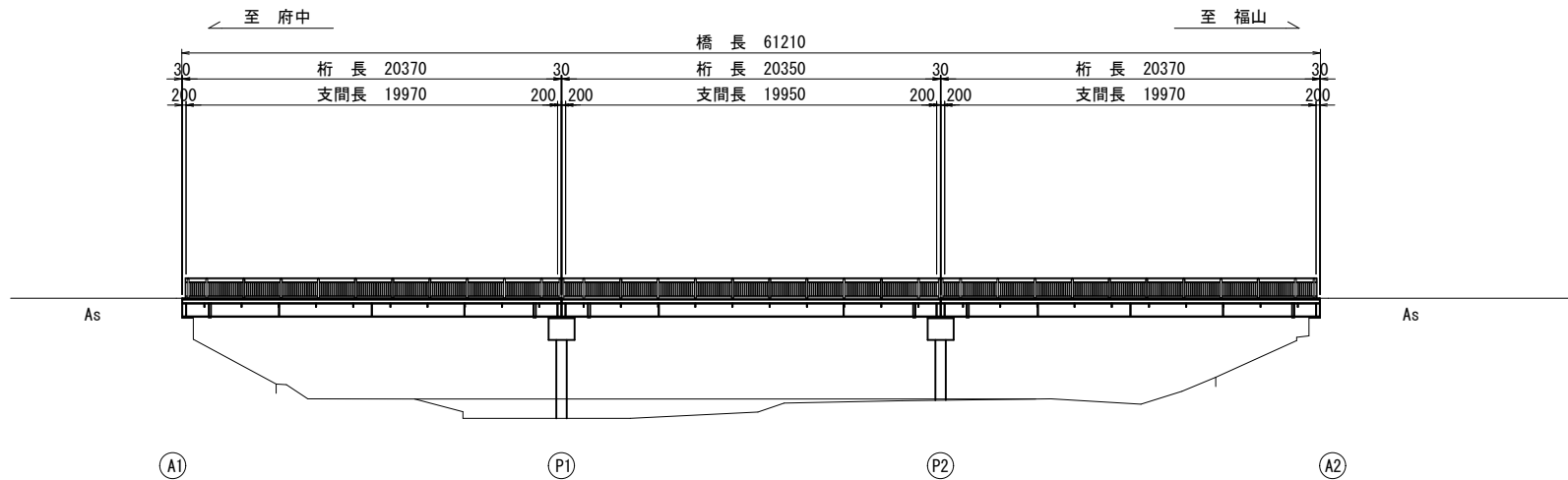
設計年月 2026年6月



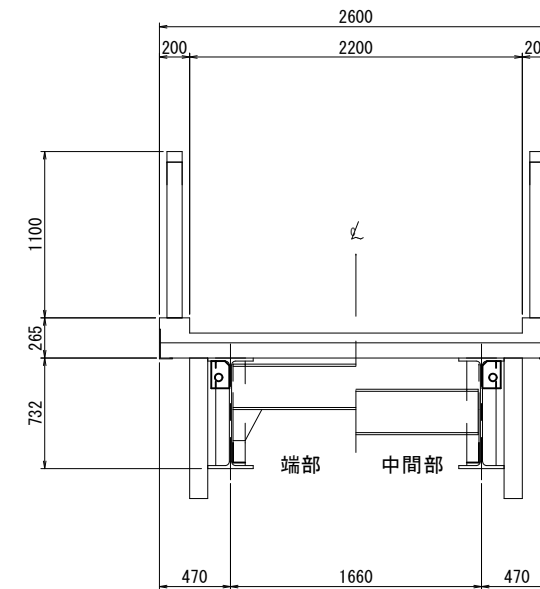
図面番号	2 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川歩道橋 橋梁一般図	番号	1 / 1
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

神谷川歩道橋 橋梁一般図

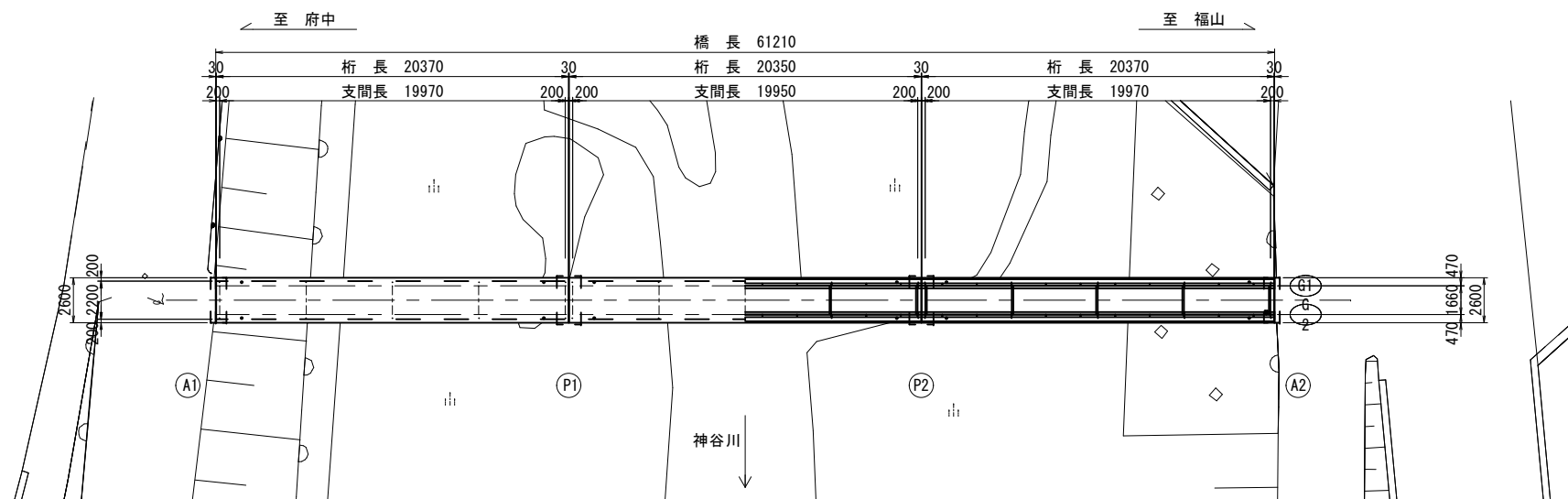
側面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



断面図 S=1 : 50 (A1サイズ)
S=1 : 100 (A3サイズ)



平面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



橋梁諸元

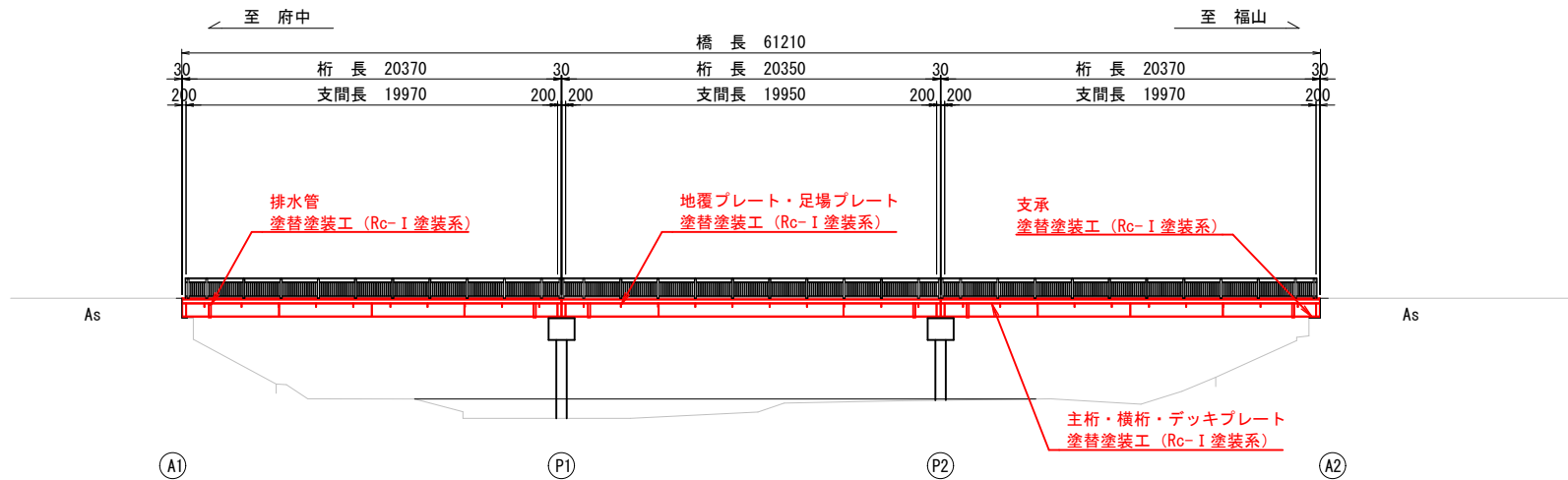
項目	橋梁諸元
橋梁名	神谷川歩道橋
路線名	新市福田幹線
河川名	神谷川
橋長	61.210m
桁長	20.370m × 2、20.350m
支間長	19.970m × 2、19.950m
全幅員	2.600m
有効幅員	2.200m
斜角	90° 00' 00"
上部工形式	桁橋 H型鋼 (非合成)
下部工形式	A1橋台 : 重力式橋台
	P1橋脚 : パイルベント
基礎形式	A2橋台 : 重力式橋台
	杭基礎
架設年度	1975年 (昭和50年)

注1) 本図は、簡易な現地寸法計測及び道路台帳を基に作成している。

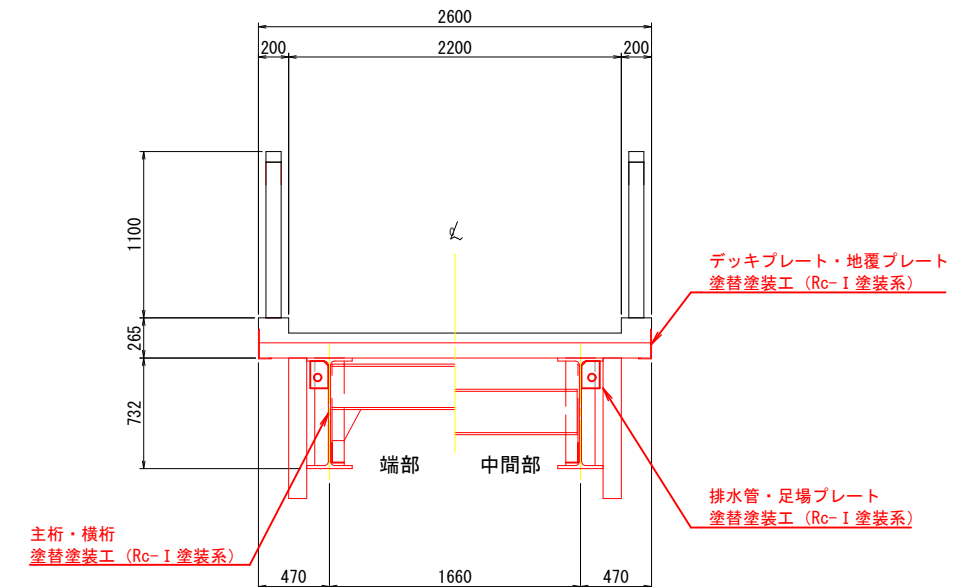
図面番号	3 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川歩道橋 補修一般図	番号	1 / 1
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

神谷川歩道橋 補修一般図

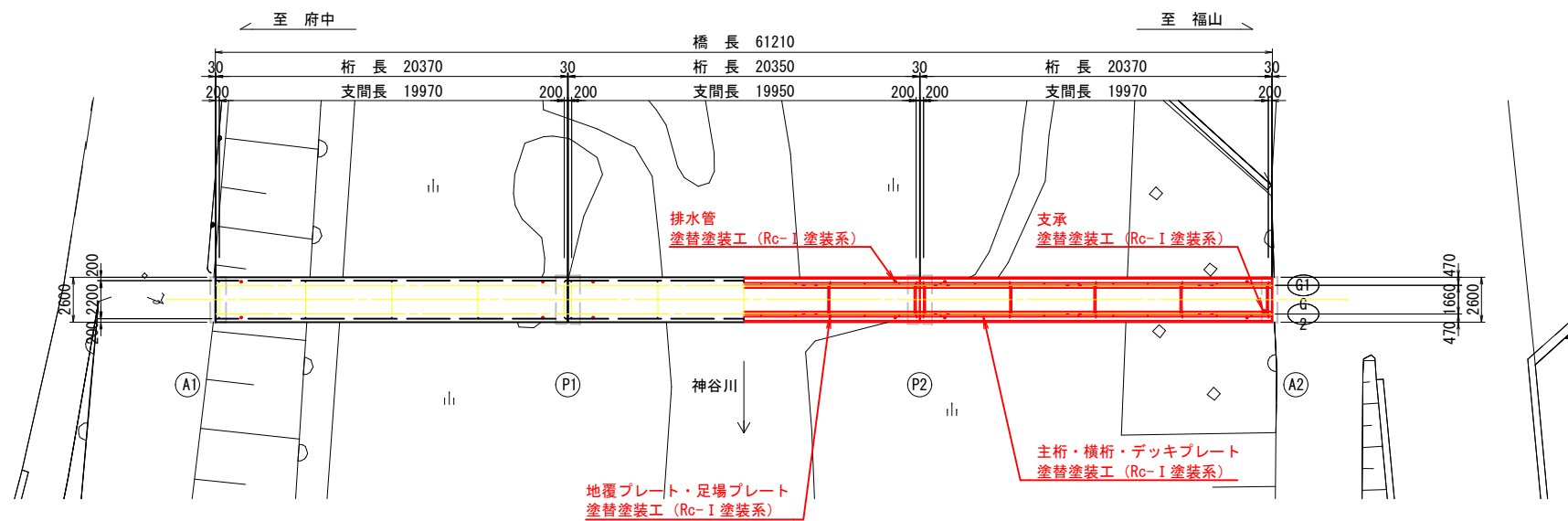
側面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



断面図 S=1 : 50 (A1サイズ)
S=1 : 100 (A3サイズ)



平面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



塗替塗装工 <上部工鋼部材>

塗替塗装仕様 (Rc-I 塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種 ケレン A		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)」より

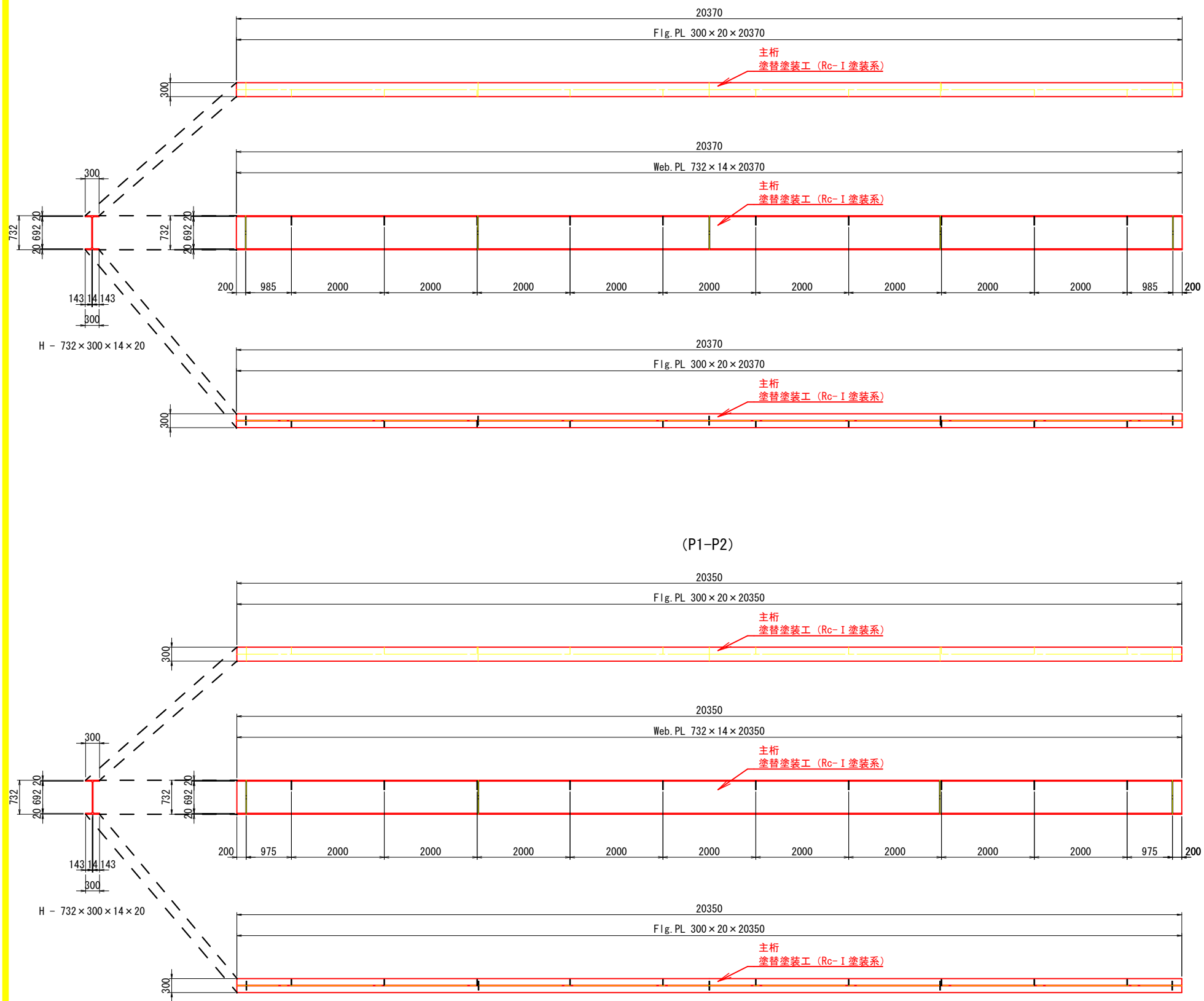
- ※ 1. 現況塗膜には、有害物質である「鉛、PCB」が含まれている。
- ※ 2. 施工時には、有害塗膜に対する粉塵対策(安全な塗膜除去)や適性な処理が必要である。
- ※ 3. 素地調整は、塗膜剥離剤にて旧塗膜を除去した後、プラスト面形成動力工具などにより素地調整1種相当を確保する計画としている。
- ※ 4. 塗膜剥離剤は、人体に優しく安全に塗膜除去作業が出来るアルコール系等を用いること。(塩化メチレン系は使用しない)
- ※ 5. 塗膜剥離剤塗布・塗膜除去回数は、試験施工により決定すること。
- ※ 6. 有害物質の処理は、特別管理産業廃棄物に該当するため、適切な処分や運搬を行うこと。

注1) 本図は、簡易な現地寸法計測及び道路台帳を基に作成している。

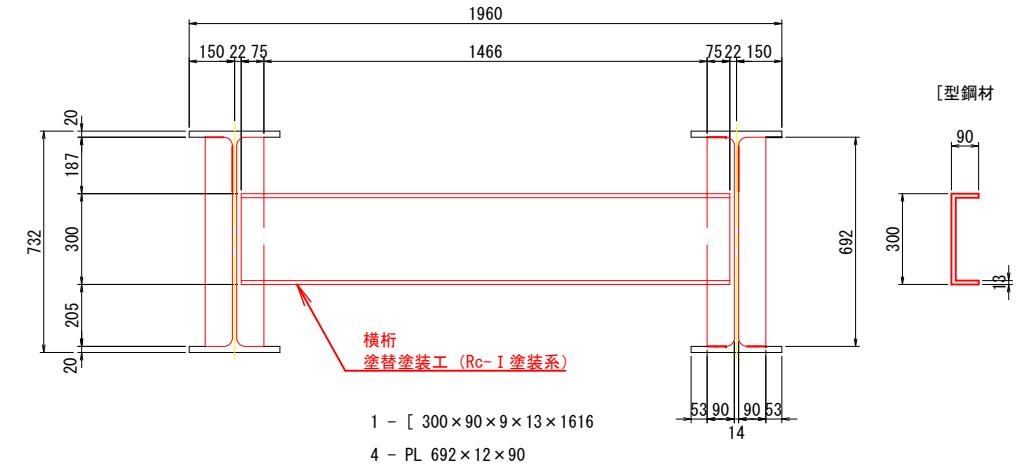
図面番号	4 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川歩道橋 補修図(その1)	番号	1 / 2
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

神谷川歩道橋 補修図(その1)

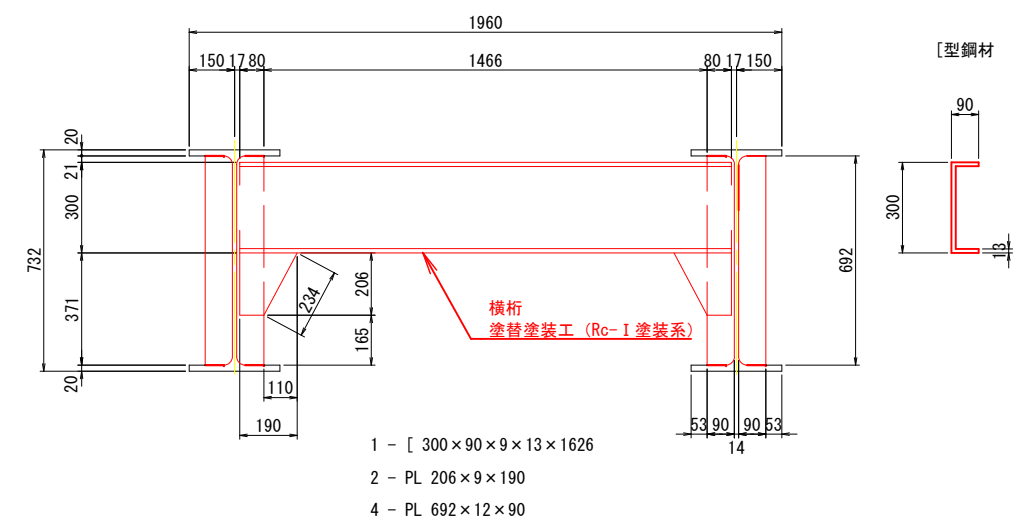
主桁 S=1 : 200
(A1-P1, P2-A2)



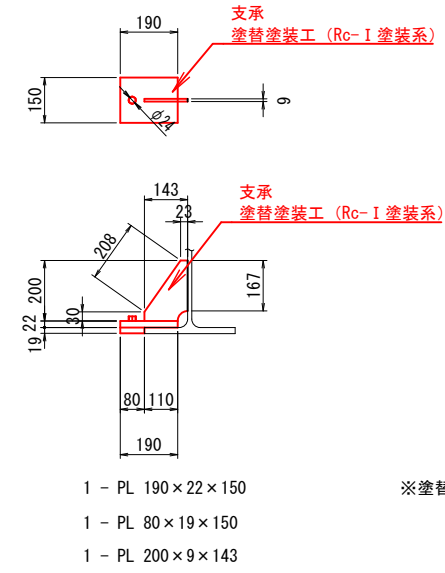
横桁 S=1 : 50
端部 (N=6箇所)



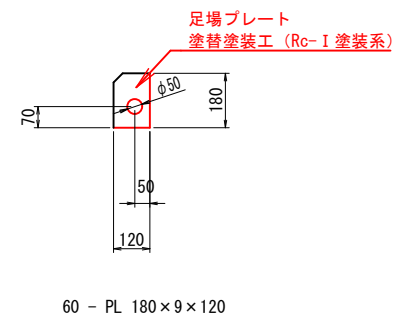
中間部 (N=9箇所)



支承 S=1 : 50
(N=1箇所)



足場プレート S=1 : 50



※塗替塗装の実施箇所は赤色着色部とする。

図面番号	5 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川歩道橋 補修図(その2)	番号	2 / 2
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

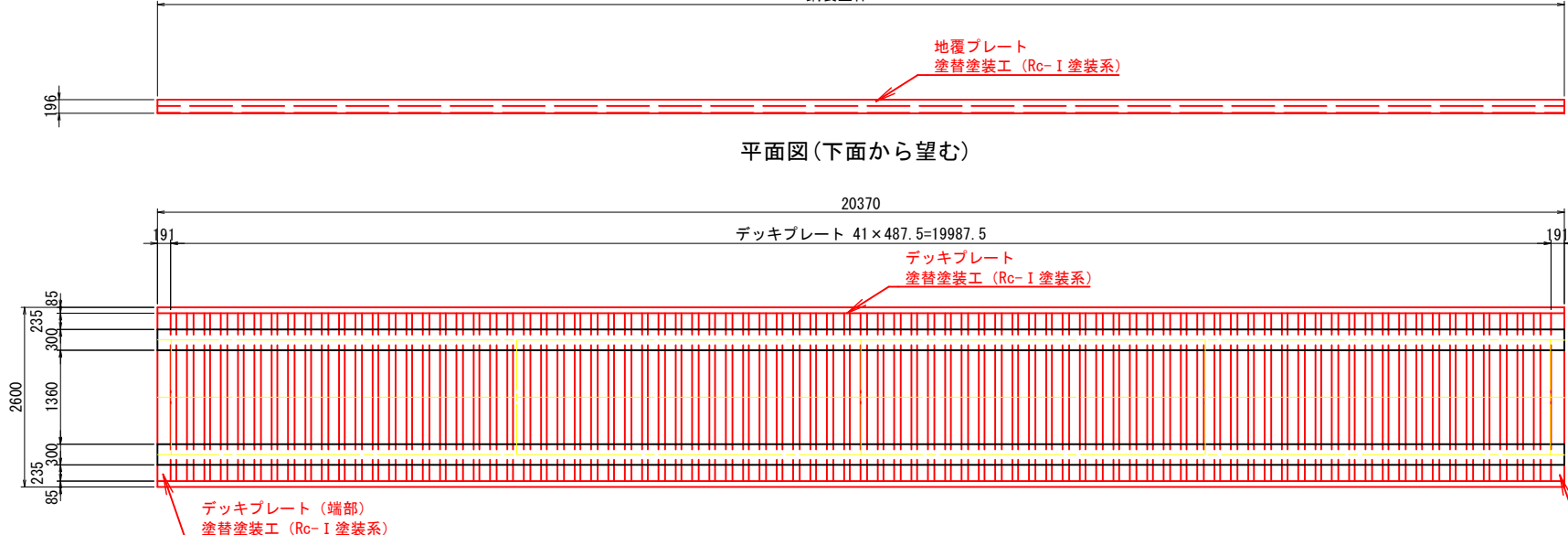
神谷川歩道橋 補修図(その2)

デッキプレート S=1:200

(A1-P1, P2-A2)

側面図

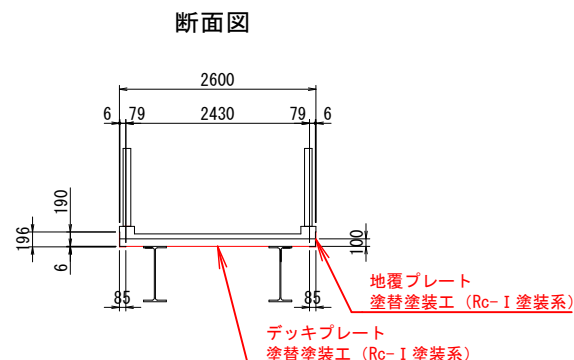
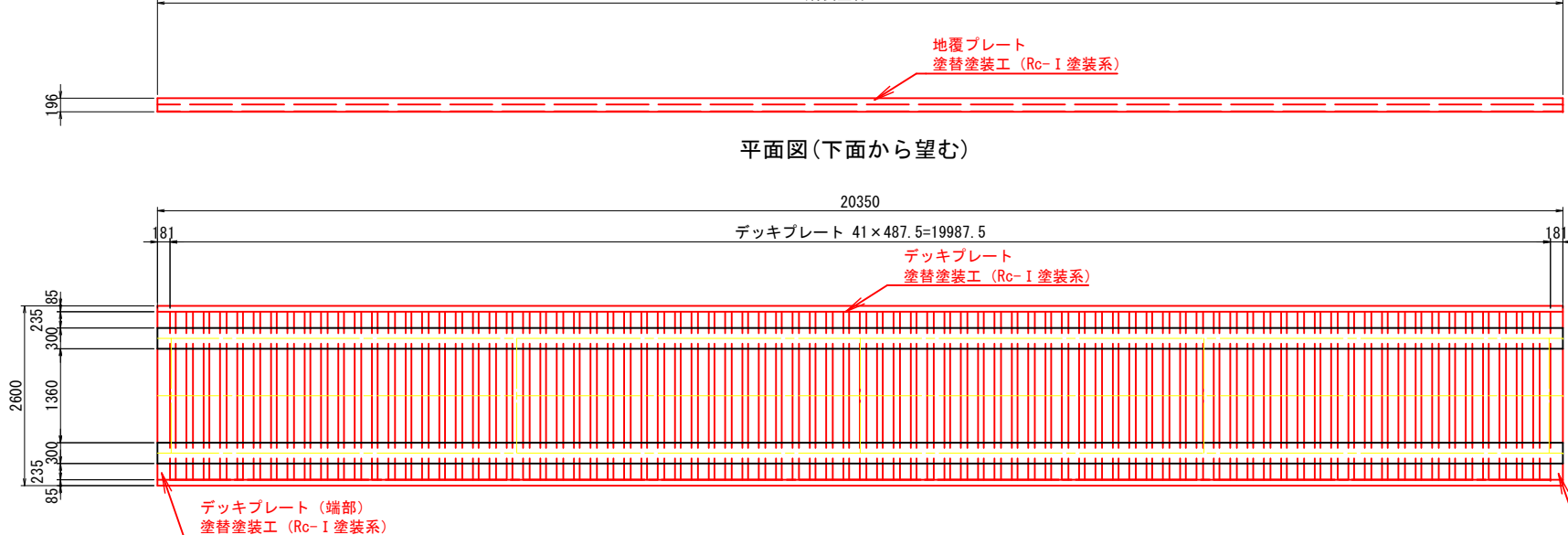
鋼製型枠 20370



(P1-P2)

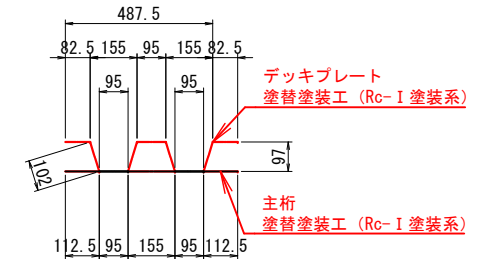
側面図

鋼製型枠 20350

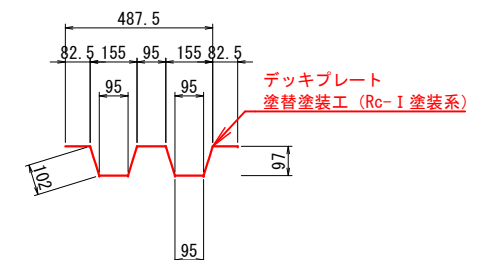


デッキプレート標準図 S=1:50

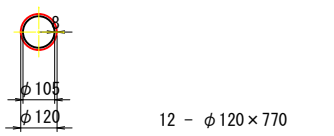
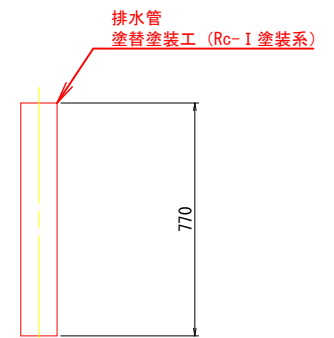
主桁部



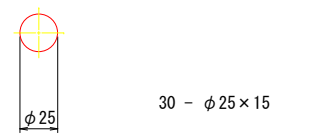
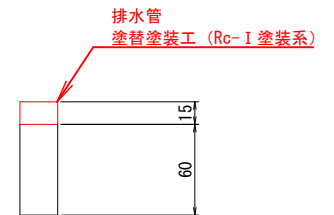
主桁部以外



排水管 S=1:50



排水管(床版排水) S=1:10

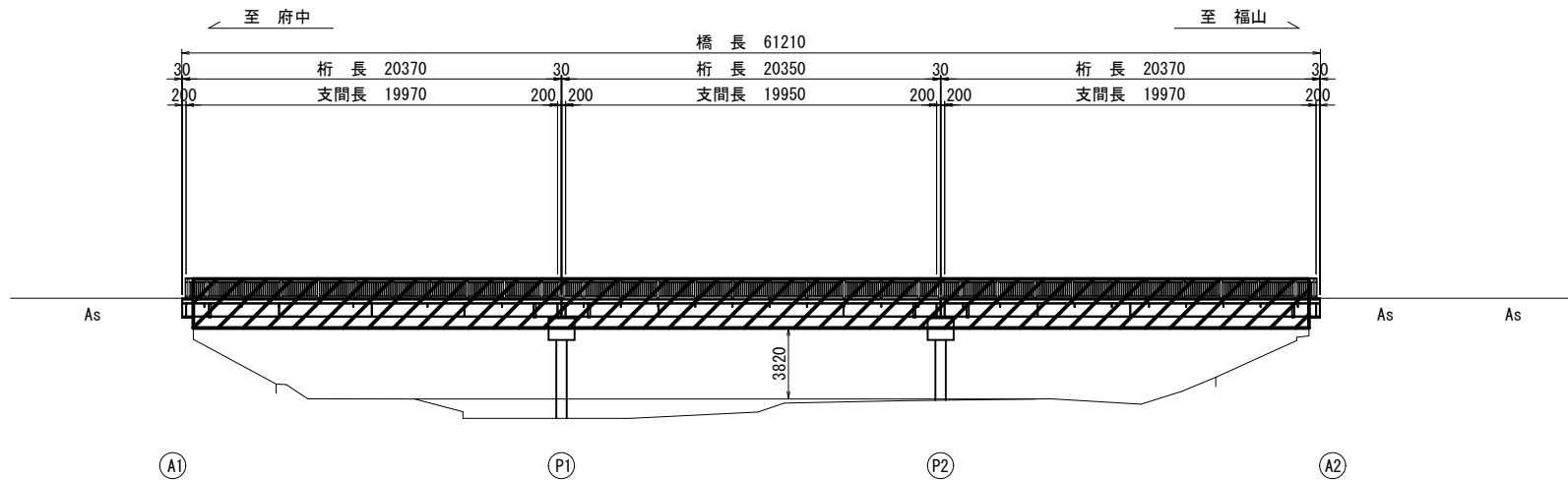


※塗替塗装工の実施箇所は赤色着色部とする。

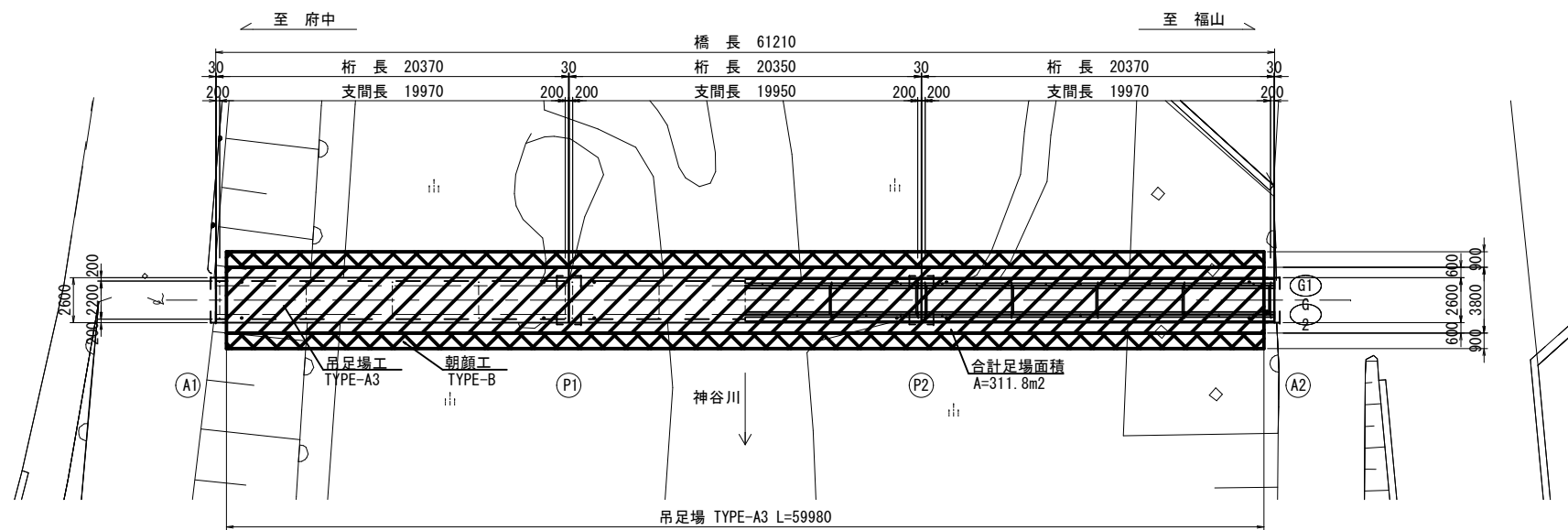
図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川歩道橋 仮設足場図 (参考図)	番号	1 / 1
路線名	神谷川歩道橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

神谷川歩道橋 仮設足場図 (参考図)

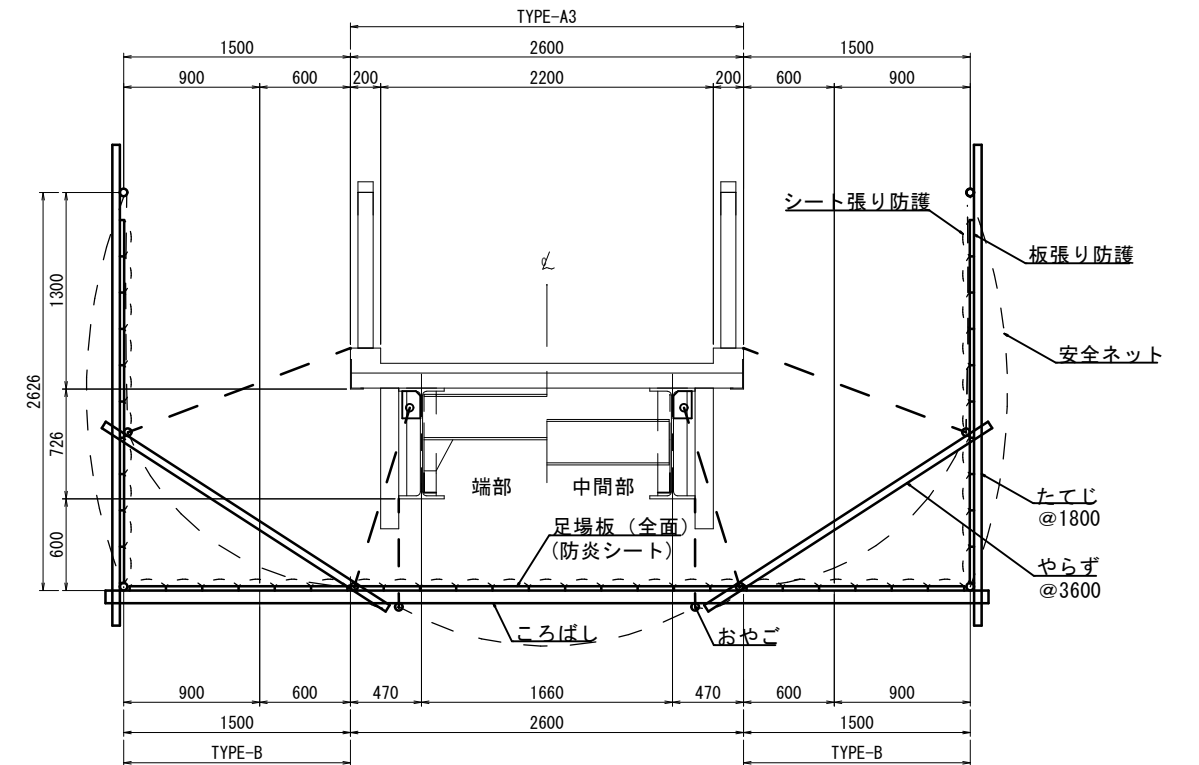
側面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



平面図 S=1 : 400 (A1サイズ)
S=1 : 800 (A3サイズ)



断面図 S=1 : 50 (A1サイズ)
S=1 : 100 (A3サイズ)



上部工数量表

名称	規格	単位	足場面積	備考
吊足場工	TYPE A3	m ²	155.9	
朝顔工	TYPE B	m ²	155.9	
合計		m ²	311.8	

(1式当り)

注記)
本図は、簡易な現地寸法計測及び道路台帳を基に作成している。
足場床面にはシート張防護を、朝顔には板張防護及びシート張防護を設置すること。
クリーンルームの設置場所は現地の協議にて決定すること。

参考図書

施工単価表

循環式プラスト工法

V000002700

単第0 -0002 表

低濃度PCB・鉛対応・制約なし

Rc-1 500m2以上1000m2未満

1000

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	14.7	人			
橋りょう塗装工	117.6	人			
循環式プラストマシン 2ノズルタイプ	14.7	台			
プラストノズル・プラストホース賃料	14.7	台			
循環式プラストマシン整備料 低濃度PCB・鉛特別整備費	14.7	台			
空気圧縮機損料 可搬式・スクリュウエンジン 19.4m3/min(第2次排ガス)	14.7	台			
発動発電機損料 ディーゼルエンジン駆動 定格容量100/125KVA(第2次排ガス)	14.7	台			
トラック 4t車 車載式	29.4	台			
研削材賃料 スチールグリッド	1,000	m2			
燃料費 軽油(36L*8h*パトロール軽油) 空気圧縮機+発動発電機	14.7	日			
雑材料	5	%			#01 労務費の5%
全体割増		m2			

施工単価表

仮設工（鉛対応環境対策資材）
ばく露防止対策

V000003001
プラスト2ノズル対応

単第0 -0015 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料 ダスミックFXN-V B160m3/min 相当	1.0	台			
鉛対応集塵機用 カートリッジフィルタ、パッキン	16	本			
エア－シャワー賃料 KAS-P04型 相当	1.0	台			
エア－シャワー用 1次フィルタ－	2	枚			
エア－シャワー用 HEPAフィルタ－	1	枚			
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1	箇所			
真空掃除機賃料 1台	1.0	月			
真空掃除機用 1次フィルタ－	2	枚			
掃除機用 2次フィルタ－	1	枚			
掃除機用 HEPAフィルタ－	1	個			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

安全費（鉛対応安全衛生保護具）
呼吸用保護具

V000003000
プラスト2ノズル対応

単第0 -0017 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
送気ユニット 接続器共	12	組			
定置式ろ過筒（4人用） ろ過フィルター含む	3	台			
エアラインホース 9 L=20m 12人分	12	本			
エアラインホース 19 L=25m 定置ろ過筒3組分	3	本			
防じんマスク タイプ RL2-2相当 12人分	12	個			
防じんマスク用フィルター（交換用含む） 4日2個組使用/人	72	個			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

4-2. 塗替塗装工

4-2-1. 塗替塗装工 (Rc-I 塗装系)

(1) 塗装面積

塗装箇所	幅	長さ	面数	数量	塗装面積	摘要
【主桁】						
1径間 (A1-P1)						
U. Flg	300	20370	1	2	12.22	G1, G2
Web	732	20370	2	2	59.64	〃
L. Flg	300	20370	2	2	24.44	〃
2径間 (P1-P2)						
U. Flg	300	20350	1	2	12.21	G1, G2
Web	732	20350	2	2	59.58	〃
L. Flg	300	20350	2	2	24.42	〃
3径間 (P2-A2)						
U. Flg	300	20370	1	2	12.22	G1, G2
Web	732	20370	2	2	59.64	〃
L. Flg	300	20370	2	2	24.44	〃
【横桁】						
U. Flg	90	1616	2	6	1.75	端部
Web	300	1466	1	6	2.64	〃
Web	300	1616	1	6	2.91	〃
L. Flg	90	1616	2	6	1.75	〃
PL	692	90	2	24	2.99	〃
U. Flg	90	1626	2	9	2.63	中間部
Web	300	1466	1	9	3.96	〃
Web	300	1626	1	9	4.39	〃
L. Flg	90	1626	2	9	2.63	〃
PL	692	90	2	36	4.48	〃
PL	206	110	2	18	0.41	〃
【支承】						
A2橋台						
PL 190×22×150	190	150	1	1	0.03	G2
〃	150	22	1	1	0.01	〃
〃	190	22	2	1	0.01	〃
PL 80×19×150	80	19	2	1	0.01	〃
〃	150	19	1	1	0.01	〃
PL 200×9×143	200	143	1	1	0.03	〃
〃	0.261	9	1	1	0.01	〃
【足場プレート】						
全径間						
PL 180×9×120	180	120	2	60	2.59	G1, G2
			小計		322.05	m2

塗装箇所	幅	長さ	面数	数量	塗装面積	摘要
【デッキプレート】						
1径間 (A1-P1)						
Deck. PL	82.5	2600	1	42	9.01	G1, G2
Deck. PL	95	2600	3	41	30.38	〃
Deck. PL	102	2600	4	41	43.49	〃
Deck. PL	112.5	300	1	84	2.84	〃
Deck. PL	155	300	1	82	3.81	〃
Deck. PL	191	2600	2	1	0.99	〃
Deck. PL (控除)	95	300	2	41	-2.34	〃
2径間 (P1-P2)						
Deck. PL	82.5	2600	1	42	9.01	G1, G2
Deck. PL	95	2600	3	41	30.38	〃
Deck. PL	102	2600	4	41	43.49	〃
Deck. PL	112.5	300	1	84	2.84	〃
Deck. PL	155	300	1	82	3.81	〃
Deck. PL	181	2600	2	1	0.94	〃
Deck. PL (控除)	95	300	2	41	-2.34	〃
3径間 (P2-A2)						
Deck. PL	82.5	2600	1	42	9.01	G1, G2
Deck. PL	95	2600	3	41	30.38	〃
Deck. PL	102	2600	4	41	43.49	〃
Deck. PL	112.5	300	1	84	2.84	〃
Deck. PL	155	300	1	82	3.81	〃
Deck. PL	191	2600	2	1	0.99	〃
Deck. PL (控除)	95	300	2	41	-2.34	〃
【地覆プレート】						
1径間 (A1-P1)						
地覆プレート(側面)	196	20370	1	2	7.99	G1, G2
地覆プレート(下面)	85	20370	1	2	3.46	〃
2径間 (P1-A1)						
地覆プレート(側面)	196	20350	1	2	7.98	G1, G2
地覆プレート(下面)	85	20350	1	2	3.46	〃
3径間 (P2-A2)						
地覆プレート(側面)	196	20370	1	2	7.99	G1, G2
地覆プレート(下面)	85	20370	1	2	3.46	〃
【排水管】						
φ120	120	770	1	12	3.48	全径間
φ25	25	15	1	30	0.04	全径間
			小計		302.35	m ²
塗装総合計 (3径間当たり)					624.40	m ²
塗膜除去及び素地調整1種(循環式プラスト)合計 (3径間当たり)					624.40	m ²

4-3. 仮設工（参考）

4-3-1. 吊り足場

(1) 足場タイプA3

（桁高1.5m未満、床面シート張り防護工）

$$A = \frac{59.98}{\text{補修延長}} \times \frac{2.60}{\text{全幅員}} \qquad = \frac{155.9 \text{ m}^2}{\Sigma A = 155.9 \text{ m}^2}$$

(2) 足場タイプB

（両側施工、シート+板張り防護）

$$A = \frac{59.98}{\text{補修延長}} \times \frac{2.60}{\text{全幅員}} \times 1 \qquad = \frac{155.9 \text{ m}^2}{\Sigma A = 155.9 \text{ m}^2}$$

(3) プラスト工用養生シート工

（中段足場養生なし）

$$A = \frac{59.98}{\text{補修延長}} \times \frac{2.60}{\text{全幅員}} \qquad = \frac{155.9 \text{ m}^2}{\Sigma A = 155.9 \text{ m}^2}$$